

評価項目	取り組み状況
教育・保育方針と内容	<p>園児一人ひとりの発達段階や個別の課題を踏まえて作成した年間計画に基づくクラス運営について、公開保育や全体会議の場で意見交換することにより保育の方向性を定めることができた。</p> <p>また昨年度に引き続き、園の研究テーマを「子どもの主体性を育む環境を考える～どの子にとっても落ち着いて遊びこめる環境の工夫を通して～」とし、外部講師による研修から環境構成や配慮の必要な子ども、家庭的な背景を抱える子どもへの支援についての学びを深め、日々の実践に活かすことができた。</p>
健康支援	<p>毎月の保健だよりに、園児の感染症罹患状況から感染予防対策を周知したり、季節ごとの健康に関するワンポイントを掲載したりすることで、子どもの健康に対する保護者の意識向上を図った。</p> <p>また、園児のケガの部位やケガに至る状況から体幹の弱さに課題があると考察し、保健指導の一環として年齢に応じたリトミックの動きや子ども達が楽しんでできる体幹トレーニングを保育に取り入れて行った。</p>
安全指導・危機管理	<p>水害による二次避難場所である第十六中学校との事前協議を基に、第十六中学校への避難経路を見直したことで、避難に要する時間を短縮することができた。また、災害物資の保管場所の見直しと、非常災害時の対応マニュアルを作成して配付し、職員への周知を図った。</p> <p>老朽化による施設修繕については、毎月の定期点検以外でも不具合が生じた時点で業者に点検を依頼し、必要箇所については修繕を行った。</p> <p>5歳児については交通安全教室を実施し、安全な道路の横断方法や歩き方の指導を行った。</p>
食育の推進	<p>年間を通じて、給食で提供する玉ねぎの皮むきを経験したり、各クラスの菜園活動で収穫した野菜をクッキングしたりして、食への関心につながる経験を積み重ねてきた。</p> <p>5歳児については、にぼし・昆布・かつお3種の出汁作りから、それぞれの出汁の味の違いを知る取り組みも行った。</p>
子育て支援（在園児および地域）	<p>保護者に対して、担任を中心に丁寧な相談支援を行い、適宜市の専門機関へつなぐ等、子育ての負担感の軽減に努めた。</p> <p>また、地域の子育て家庭がこれまで以上に利用しやすい園をめざして、6月から「マイ子育てひろば事業」を実施した。</p> <p>登録者のニーズに応じて市の関係機関と連携しながら親子が孤立しないよう支援を行った。</p>
インクルーシブ教育保育	<p>園児の支援は、個々に対応が異なるため、より高い専門性が求められる。外部講師による研修で子ども理解を深めながら、一方で児童発達支援センター職員による巡回相談で細かな関わり方の指導を受けたことで、個々の課題に応じた対応が明確になり、日々の保育に活かすことができた。</p>

<p>職員の資質の向上</p>	<p>外部講師による研修で、子どもの主体性を育む環境作りの話や、発達に課題を抱えている子どもや家庭背景に課題を抱える子どもを含めたクラス運営についての話から学びを深めることができた。</p> <p>また、公開保育を通して参加した職員同士で意見交換することでクラス運営を振り返り、クラス担任だけでなく参加者も含めて日々の保育を見直す機会となった。</p>
<p>幼保こ小中の連携・接続</p>	<p>幼保こ小連絡協議会において、各機関と意見交換を行うことで新たな情報を得る機会になった。</p> <p>また、今年度と昨年度の5歳児担任が参加することで、卒園児の小学校での姿を知ることができ、こども園での必要な経験や大切にしたい子ども達の学びを知る機会となった。</p>
<p>評議員会</p>	<p>今年度も3回実施し、5歳児と1歳児クラスの保育と地域支援事業を見学していただいた。クラスの見学では、子ども達が保育教諭に対して「安心」と感じる信頼関係が築かれているとの意見や、地域支援事業では、子育て家庭同士の横のつながりを作る良いきっかけになっているとの意見をいただいた。</p>
<p>その他</p>	

○今後取り組むべき課題（重点的に取り組むべき課題）

<p>課 題</p>	<p>具体的な取り組み方法</p>
<p>教育保育の質の向上</p>	<p>保護者アンケート結果より、身近に子育ての協力者がいても子どもと触れ合うことや向き合うことが苦手と感じている保護者が一定数いることがわかった。</p> <p>園行事やおたより等、様々な形で子どもの育ちで大切にしたい事を保護者に伝えているが、「子育てが苦手」と感じている保護者に対して気持ちに寄り添いながら支援できる保育教諭をめざし、コミュニケーション能力の向上等、保育教諭としてのスキルアップを図っていく。</p>
<p>幼保こ小中の連携・接続</p>	<p>近隣の小学校や就学前施設と交流する機会を増やし、就学前から縦・横のつながりを深めることで、小学校へのスムーズな移行へつなげていく。</p>

令和7年（2025年）3月31日

豊中市立 小曾根こども園

園長名 林 正子